

ヨウが織りなす天満月
揚輝荘におけるインスタレーションとワークショップ
橋本雅好研究室 企画 荻野樹 / 神谷彩乃

1. 背景

名古屋の城山、覚王山地区では毎年様々なイベントが開催され、地域を盛り上げている。春の「やまでの音楽祭」や秋の「紅葉の名所めぐり」「お月見どろぼう」などを企画されている市民団体の「ちくさ・文化の里づくりの会」に協力する機会を得て、覚王山にある「揚輝荘」でイベントを開催する。



2. 目的

来場者に揚輝荘の魅力を知ってもらう目的で、揚輝荘の歴史や特徴を活かしたインスタレーション展示とワークショップを行う。特にコロナ禍により2年近くイベントが中止に追い込まれていたため、今年は市民の交流と文化的活動を絶やさないという思いで参加した。

3. 企画内容

ちくさ・文化の里づくりの会が主催となる「城山覚王山の紅葉を楽しむ～まちの魅力をみつけよう～」のイベントの中で、揚輝荘にてインスタレーション展示とワークショップを企画・運営・実施する。

4. スケジュール

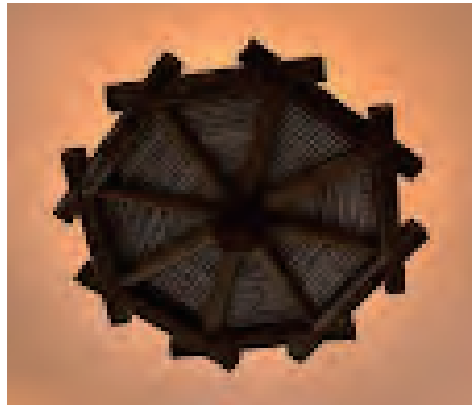
3月	インスタレーション・ワークショップ内容検討
4月	枠材料の選定、北園見学
5月	北園見学・調査（模様収集）
6月	視察・揚輝荘での打ち合わせ 企画提案
7月	タイトル決定 SNSアカウント作成
8月	聴松閣見学 枠の制作
9月	枠組みスタディ フライヤー作成 枠・アートの制作
10月	枠・アートの制作
11月	組み立てスタディ 枠・アートの制作 リーフレット作成 設営 展示・ワークショップ アンケート
12月	撤収・まとめ

5. コンセプト

覚王山は見晴らしのいい高台で、江戸時代から月見の名所として知られており、月と茶を楽しむ時間と空間を築いてきた歴史がある。また揚輝荘の建物には和洋折衷や中国、インド様式といった模様が各所に施されており、月と掛け合わせたものをコンセプトとする。

6. 調査

揚輝荘への調査は2021年12月2日、2022年4月22日、5月20日、6月22日、8月17日に行った。見学ツアーへの参加や説明看板を参考にし、本企画に使用する模様を選定した。照明や天井、床や壁面から様々な様式の特徴を探して建築模様を取り入れた。



車寄せの照明



古代瓦



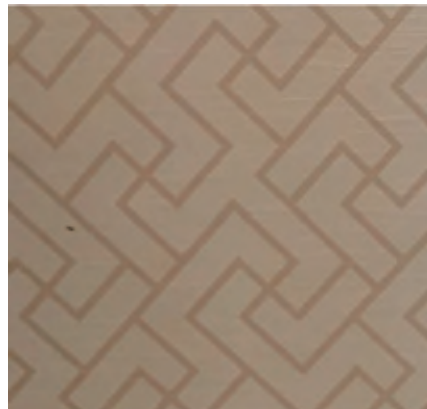
モザイクタイル



透かし彫り



天井の鳳凰



卍型のクロス



中国風の暖炉



オウム



格子窓



花模様



渦巻



植物模様の柱

選定した建築模様（一部）

7. 広報

「ヨウが織りなす天満月」の広報として、Instagram、Twitter、フライヤー、リーフレットの制作を行い、活動を発信した。



8. インスタレーション作品

『ヨウが織りなす天満月』

◇名前の由来

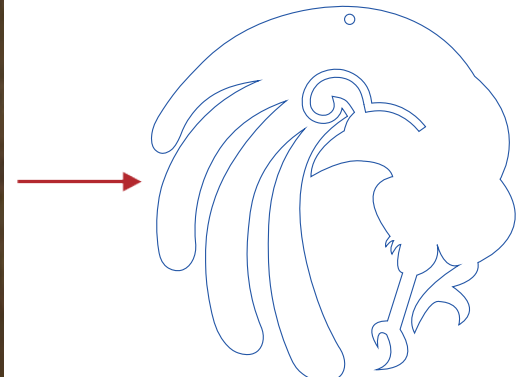
揚輝荘、姿・形「ヨウ」、揺れる、模様 の4つの「ヨウ」が月を織りなしているという意味がある。

◇作品について

揚輝荘の聴松閣にある様々な様式の建築模様の集まりで月の形を表現し、風による揺れで形が変わることで、自然を目で見た時の心の動きを表現している。揚輝荘の紅葉の風景に溶け込んだアート作品を制作した。

◇制作過程

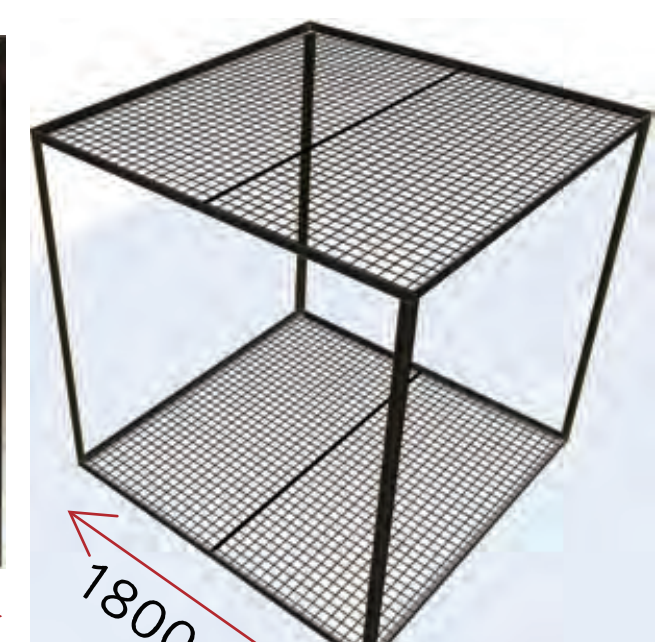
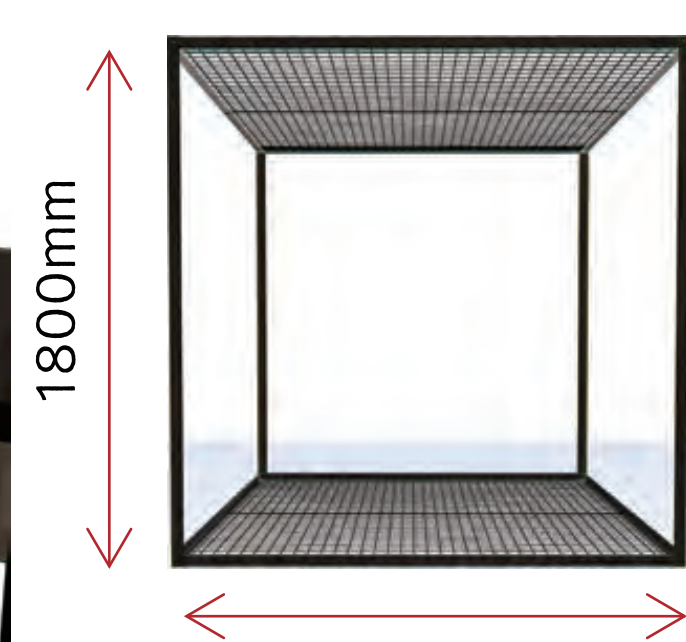
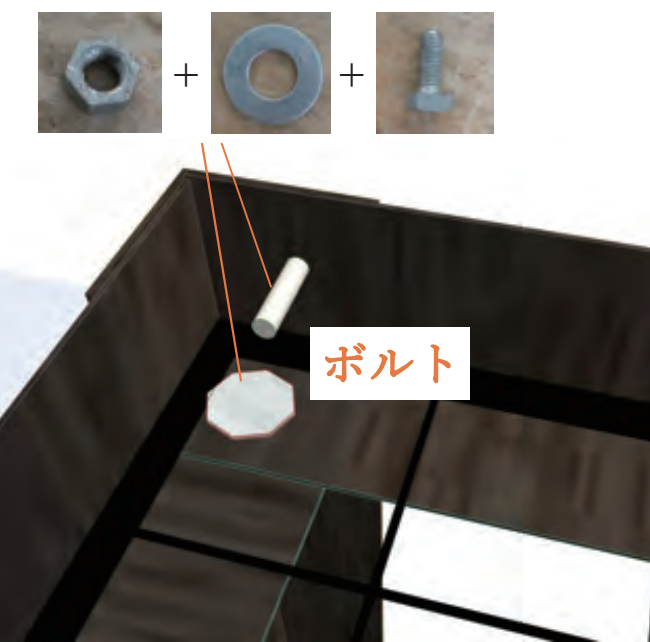
建築模様を【図1】のように抽出してデータ化し、白のPPシートをレーザー加工機で切る。サイズは150mm、130mm、110mm、90mmを用意する。それを白雲橋の階段や伴華楼の腰壁などに用いられている五色玉石貼りの色（赤・青・茶・緑・白）【図2】の5色を選定し、塗装した。



【図1】天井装飾抽出データ

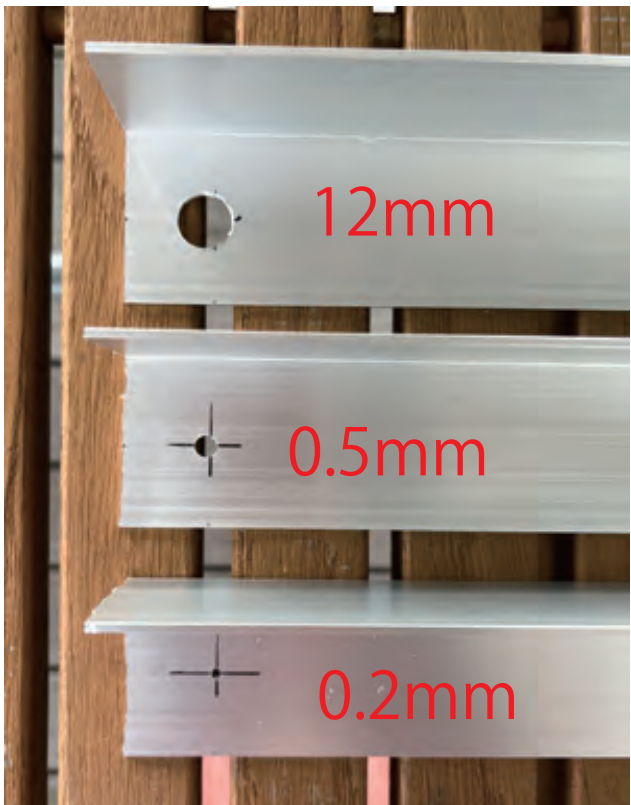
【図2】五色玉石貼り

組み立て方法や大きさを調整するため、CADで枠組みイメージを作成する。12本のL字アルミアングル(2×40×40×1800mm)同士の角8箇所をボルトで締め、立方体を組み立てる【図3】。



【図3】アルミアングル枠組み

ボルトの穴は電動インパクトドライバーで、直径2.0mm、5.0mm、12mmの順に開け【図4】、【図5】のように接合した。アルミアングルの色は揚輝荘の風景となじみやすいこげ茶を選定し、防水ペンキで塗装した。



【図4】アルミ穴あけ

【図5】ボルト接合

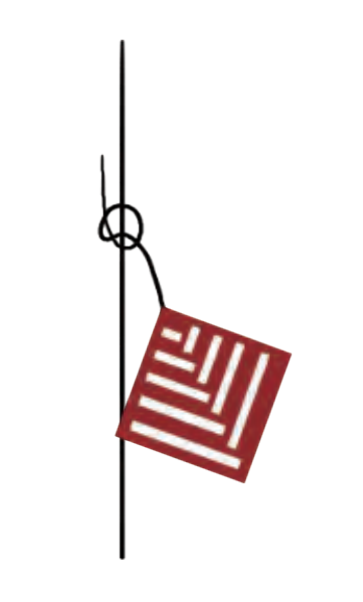
歪みを抑えるため木材を切断・スプレー塗装して補強材を制作し【図6】、8箇所 corner にボルトで固定した【図7】。上下に二枚ずつはめ込んだメッシュパネル(1800×90)の上から下へテグスを張り、【図1】で制作したPPを【図8】のように結んで接着させ、遠くから見ると球体に見えるように配置した【図9】。



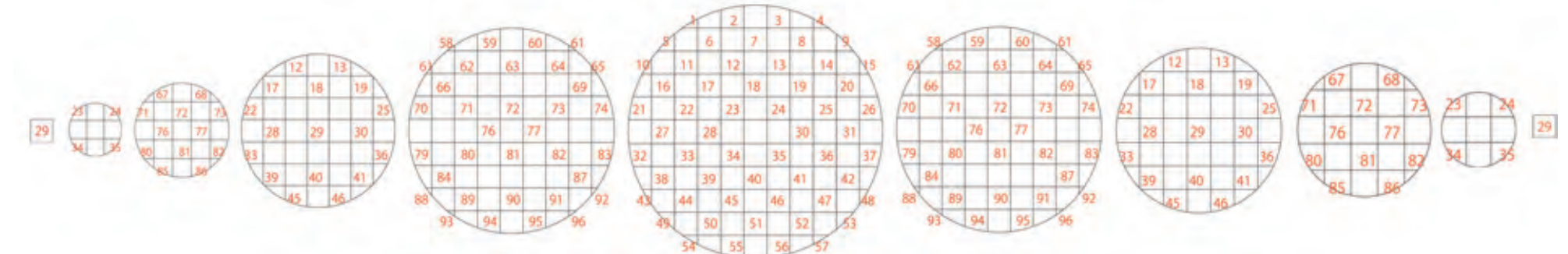
【図6】補強材制作



【図7】補強材



【図8】PP 接合



【図9】PP グリッド配置図



インストール写真

9. インスタレーション展示詳細

期間：2022年11月19日(土)～12月4日(日)

(休園日:11月21日、28日)

時間:9:30～16:30

場所:揚輝荘 北園 中島



【写真3】インストール展示の様子

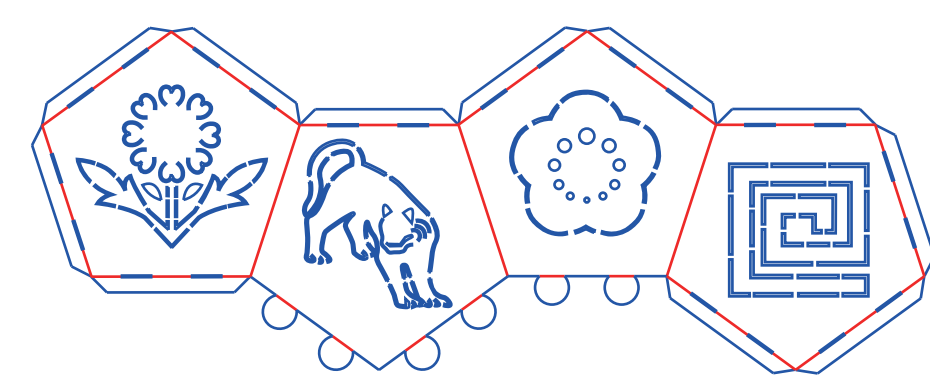
10. ワークショップ

PP(ポリプロピレンシート)を使ったランプシェード。多面体を満月に見立て、その中にLEDランプを入れ、月明りを表現した。

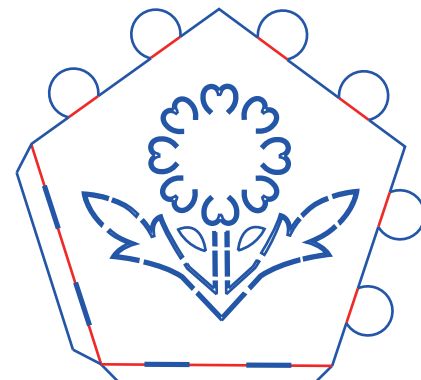
オリジナル模様を作り、実際に手を動かすことで揚輝荘の建物の特徴を知っていただき、インスタレーションを見た時の感動を持ち帰ってもらう。

【作り方】

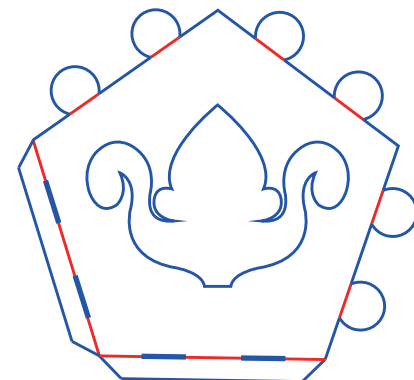
4つセット【図10】1枚・線の模様【図11】4枚・穴の開いた模様【図12】3枚のものを、それぞれ好きな模様を選ぶ。穴の開いた模様にはトレーシングペーパーを貼り、色画用紙を使って建築模様の一部を抜粋してカットした(四角形や花形など)「模様のかけら」【図13】を組み合わせてオリジナル模様を作る。線の模様には色ペンを使い、囲ったり塗りつぶしたり華やかにアレンジをする。最後に、4つセットのものにそれぞれのPPと、ランプを被せるための五角形に開いたPP【図14】を繋ぎ合わせて正12面体にする。



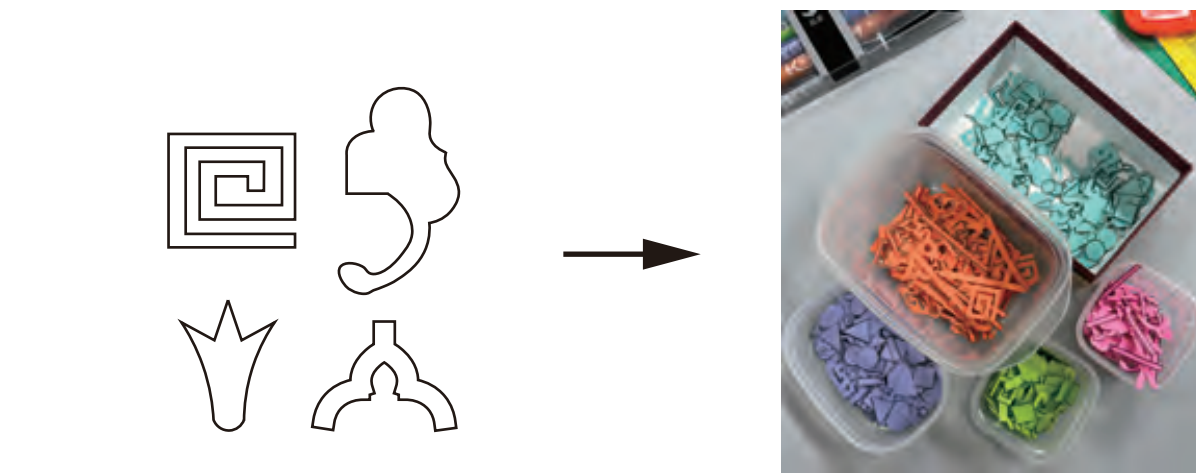
【図10】4つセット



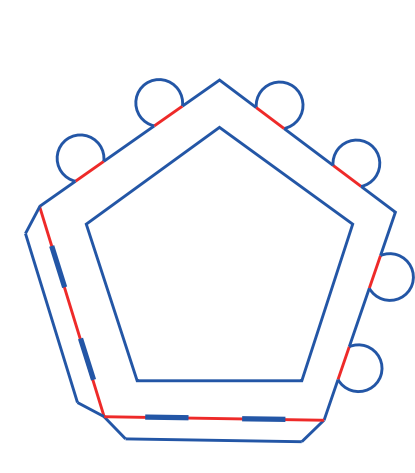
【図11】線のPP



【図12】穴開きPP



【図13】模様のかけら



【図14】底



制作例



試作品



ランプ点灯後

11. ワークショップ詳細

『オリジナルランプシェードを作ろう!』

期間:2022年11月19日(土)、23日(水・祝)、26日(土)、12月3日(土)

時間:10:00～16:00

場所:揚輝荘 北園

参加費:無料

定員:1日先着20名

参加者:計72人



ワークショップの様子



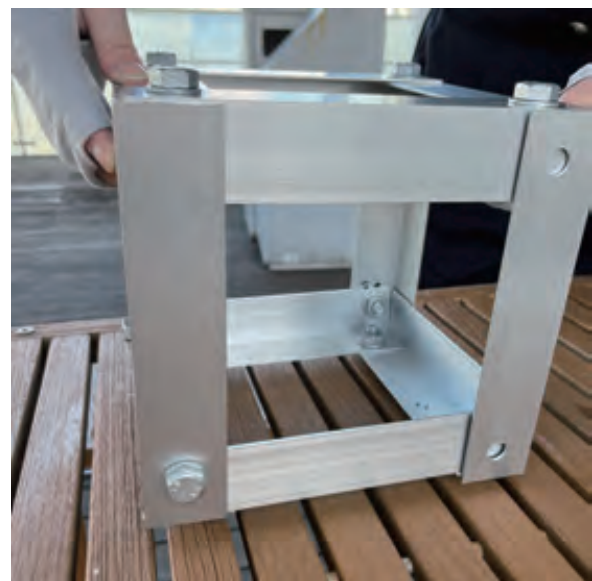
参加者によるランプシェード作品

12. 本制作過程

インストール

◇枠

【端材モックアップ】レンチや網の大きさを考慮してボルトをつける穴のサイズを検討した。また、柱と土台とのボルトの間隔が狭かったため、微調整して組み立てた。

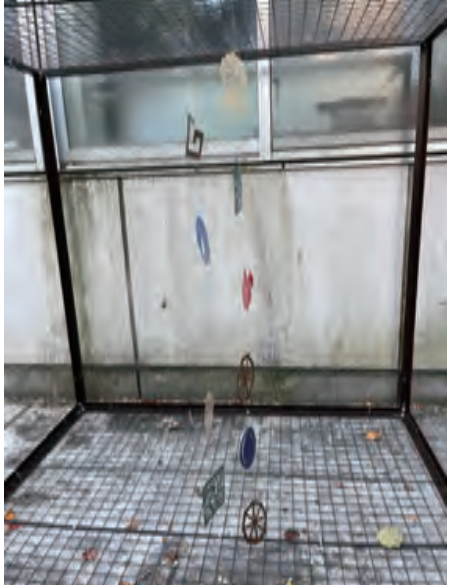
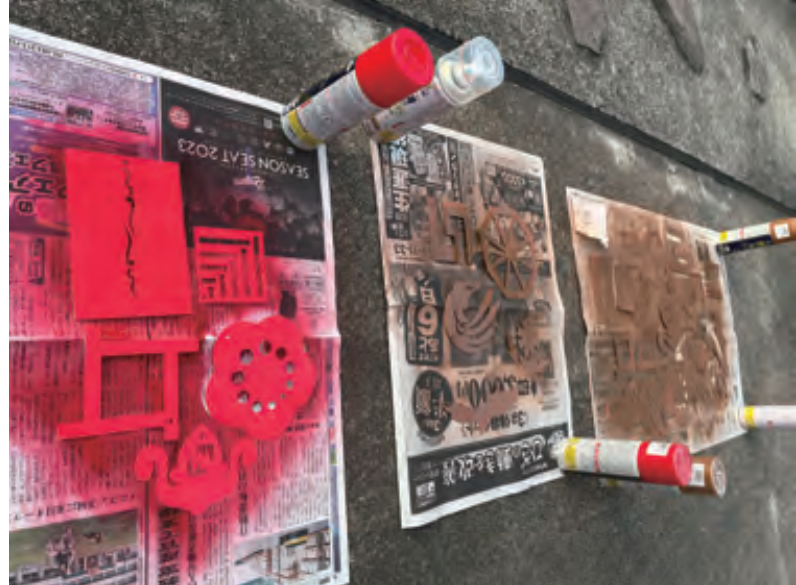


【モックアップ(1/1)】色は黒とこげ茶を比較し、溶け込む色を選定・塗装した。ボルトだけでも自立はしているが、長期間置くことを考えて歪みやねじれが生じないように12箇所補強材をつけた。



◇アート

モックアップでは2本のみアートを配置し、現地でのかかる時間や風による揺らぎ具合、雨の中での塗装の状態を確認した。テグスが緩むため、ボンドと併用して配置した。



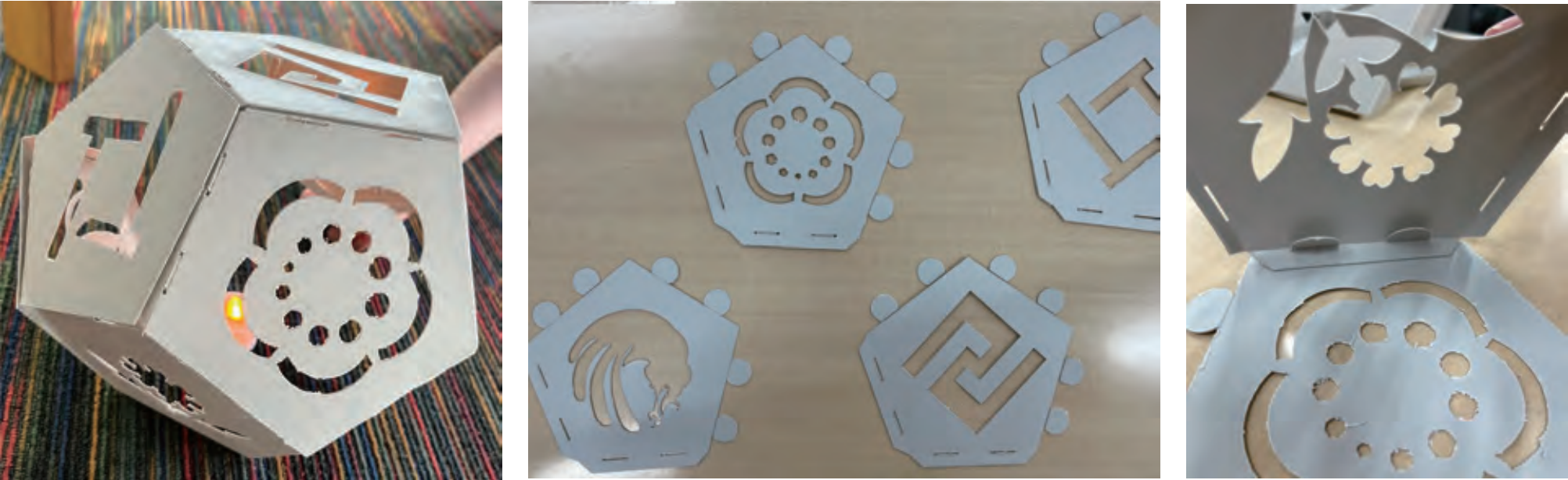
◇説明看板・柵
合板で説明看板と柵を切断し、枠と同じ色味のこげ茶で塗装した。結束バンドで上下を固定していたが、加えて安定性を高めるためにねじで締めた。



ワークショップ

◇試作過程

- ①試作（直径 150 mm、厚み 0.75）
- ・ライトに対しても全体的に大きすぎる。
 - ・中が見えてしまう。
 - ・厚みがあるため、柄や差し込み部分の加工がうまくできず、見栄えが悪くなる。



- ②試作（直径 100 mm、厚み 0.38）
- ・凹凸がしっかりとハマった。
 - ・ライトと作品を持ち帰る大きさを考慮して 100 mmで進める。
 - ・模様の穴が大きく、中のランプが見えてしまうため線画の模様は検討する。



- ③試作（直径 100 mm、厚み 0.38）
- ・アレンジができるよう透明フィルムを貼ったが、光に当てると透けてしまう。
- そのため、色画用紙を使い、建築模様の一部を抜粋したパーツを貼り付ける。



- ④試作（直径 100 mm、厚み 0.38）
- ・ランプを入れる底部分に PP をつけないと凹凸部分がついたままになってしまう。
- そのため、底に五角形の穴を開けた PP をつけて制作を進める。
- ・開催が日中のため、ランプを入れた状態を見ることができるよう箱を制作する。



1 3. アンケート結果

ワークショップ開催日を含む展示期間中の 7 日間にアンケート調査を行った。
結果は下記の通りである。

◇質問項目

- Q1. ご自身について教えてください。
- Q2. どなたといらっしゃいましたか。
- Q3 どちらからお越しになりましたか。
- Q4 「ヨウが織りなす天満月」が開催されることを何で知りましたか。
- Q5 インスタレーション展示を見て、以前に比べて揚輝荘に興味を持ちましたか。
- Q6 インスタレーション展示はどうでしたか。
- Q7. ワークショップは楽しかったですか。
- Q8. ご意見や感想があれば自由にお書きください。
- Q9. また揚輝荘に訪れたいと思いますか。

○インスタレーション展示

◇アンケート回答者数
11/20…31 人 11/26…14 人 11/27…79 人 12/3…15 人 12/4…39 人
計 208 人

	11/20	11/26	11/27	12/3	12/4
男性	4	6	20	3	10
女性	27	7	56	9	28
不明	1	0	3	2	0

Q1. 性別

	11/20	11/26	11/27	12/3	12/4
良かった	31	14	77	15	39
どちらでもない	0	0	2	0	0
よくなかった	0	0	0	0	0

Q6. 展示はどうでしたか

◇感想

- ・個性的な作品で感動した。
- ・色合いや雰囲気が揚輝荘になじんでいて素敵だった。
- ・良く考えられて作られていると思った。
- ・南園へ行く前に見せていただけてよかった。模様を注意深く見てこられそう。
- ・プロモーションや展示の仕方がすごくしっかりしていて学生さんの展示の仕方としてレベルが高いと思った。
- ・展示はどこから見ても丸く見えて、紅葉と色が合っていてとてもきれいでした。



アンケート調査の様子

○ワークショップ

◇アンケート回答者数
11/19…19 人 11/23…11 人 11/26…22 人 12/3…18 人
計 70 人

	11/19	11/23	11/26	12/3
良かった	19	11	22	17
どちらでもない	0	0	0	0
よくなかった	0	0	0	0
不明	0	0	0	1

Q5. 揚輝荘に興味を持ちましたか

	11/19	11/23	11/26	12/3
とても楽しかった	17	9	19	17
楽しかった	2	2	3	1
普通	0	0	0	0
楽しくなかった	0	0	0	0

Q7. ワークショップは楽しかったですか

◇感想

- ・とても素敵な作品ができて良かった。
- ・丁寧に教えて下さり楽しく参加できた。
- ・楽しいワークショップを今後も企画してほしい。参加させていただきたい。
- ・工作が好きな子供なので、楽しく作れて良かったと思う。
- ・絵馬のように持ち帰らないワークショップ（皆で作るもの）などやってみたい。
- ・模様一つ一つが強調されて、こんな模様があるのだと気づかされた。
- ・見本の展示があれば見てみたかった。
- ・受付の所にワークショップの案内があると参加者が増えると思う。とても楽しいから多くの方に体験してもらいたい。
- ・このような機会がもっとあると良いと思います。

1 4. 企画結果・まとめ

ワークショップ開催の 4 日のうち 3 日は定員 20 名全員に参加していただくことができた。参加費が無料であることや、お部屋のインテリアとして実際に使用できるもの作りであったことが大きな要因であると考ええる。しかし、ランプシェードの作り方が少し複雑なこともあり、来場者への説明で手一杯になってしまいインスタレーション展示の対応ができない時間帯があった。その点に関してはもう少し多く協力者を募集すべきだった。

ワークショップ参加者に関しては子供より大人の方が多く、年代・性別を問わず没頭できるもの作りを企画することができた。ときにはマンツーマンで制作の補助もし、一緒に会話をしながら揚輝荘の解説やものづくりの楽しい時間を提供することができたといえる。

インスタレーション展示でも選定した模様と聴松閣内の模様を実際に照らし合わせて探していた来場者も多く、揚輝荘に興味を持って、楽しみながら学んでいただくことができた。「また揚輝荘に行きます」や「揚輝荘を知りたいにも広めます」、「またこういった楽しい企画やアートを展示してもらいたい」といった声も多くいただけ、本企画の目的を達成させることができた。